

第3学年 国語科学習指導計画

1. 単元名 せつめいのしかたを考えよう れいをあげてせつめいしよう

教材名 「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」 国分牧衛（指導時期9～10月）

2. 単元の目標

- ・中心となる語や文を捉え、段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。
- ・内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。
- ・内容の中心が伝わるように音読できる。
- ・文中の語句について国語辞典を利用して調べることができる。
- ・構成や段落相互の関係に注意しながら文章を書くことができる。

3. 指導計画（全14時間）

	時	おもな学習活動（第二課題は●）	◎指導上の留意点 ☆評価
一次	1	○食べ物クイズに答える。 ○「すがたをかえる大豆」の題名について考える。 ○「すがたをかえる大豆」を読み、感想を書く。	◎クイズでこれからの学習が大まかに分かり、興味をもって取り組めるようにさせる。 ◎大豆の実物や写真を見せて、「すがた」という言葉の意味を確認させ、大豆を使った食品のイメージをもたせる。 ☆文章の内容に関心をもち、おおまかな内容を捉えている。
	2	○初発の感想を交流する。 ○「せつめいのくふうについて話し合おう」「れいをあげてせつめいしよう」という学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ○難読語を辞書で調べる。	◎筆者の説明の書き方について感想を書いている場合、取り上げ、説明の書き方の工夫につなげられるようにする。 ◎初発の感想をもとに学習計画を立てる。 ☆文章中の表現や言葉の意味を辞書で調べている。
二次	3	○全文を読み、文章全体の組み立てを捉える。 ・形式段落を確認する。 ・「初め」「中」「終わり」の3つに分け、それぞれの部分の大まかな内容と役割を捉え、まとめる。 ・初め 説明する話題 大豆の説明 中 大豆をおいしく食べる工夫 終わり まとめ 多くの食べ方が考えられた理由 筆者の感想 ●入れるとしたらどんな「問い」を入れればよいか考える。	◎既習の、「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」の文章構成や「初め」に問いがあったことを想起し比較させる。 ☆「問い」を含まない形で話題提示する「初め」の働きについて理解している。
	4	○「中」の段落の内容を読み取り、大豆をおいしく食べる工夫と具体例を整理する。 ・大豆をおいしく食べる工夫が書いてある文にサイドラインを引く。 ・「やく」「いる」「ひく」「すりつぶす」などの言葉の意味を辞書で調べて違いを確認する。 ●各段落の要点を考える。	◎繰り返し出てくるキーワード「くふう」を見つけることで、問いについて考えさせる。 ◎「くふう」という言葉をもとに工夫を探させ、中心の文が必ず段落の最初にあることを確認する。 ◎大豆を加工するときに使われる言葉に注意しながら各段落でどんな工夫が書いてあるか捉えさせる。 ☆各段落で述べられる具体例を捉え、中心となる文に着目しながら内容を整理している。

	5 (本時)	○大豆をおいしく食べるための工夫が説明されている順番について考える。 ・③～⑥段落の順番を入れ替えても説明が成り立つか考える。 ●筆者が③～⑥段落の順番で説明している理由を考える。	◎「中」を段落ごとに切り分けた用紙を使い、説明されている順番を理由とともに考えさせる。 ◎順番を表す言葉に着目させながら、接続語の役割を考えさせる。 ☆段落の最初の言葉や接続語が、順番を表すということを理解している。
	6	○「すがたをかえる大豆」の説明の工夫について話し合う。 グループ→全体 ・文章全体の組み立てについて ・段落の組み立てや段落同士の関係について ・言葉の使い方 ・写真の使い方 ●説明の工夫について観点ごとにまとめる	◎観点を示し、観点ごとに説明の工夫が整理しやすいようにする。 ◎全体の場合の前に、グループで話し合いの場をもち、全体の場合で発表しやすくさせる。 ☆説明の工夫を見つけ、グループまたは、全体の場合で発表している。
三 次	7	○食べ物のひみつを分かりやすく説明する文章を書くための学習計画を立てる。 ・「すがたをかえる大豆」から、どんな説明の工夫があったか思い出す。	◎説明文のモデルを提示し、書く学習に興味をもたせる。 ☆文章を書くまでの流れを理解し、進んで学習計画を立てている。
	8	○調べたい材料を選び、どんな食品にすがたを変えているか、アイディアマップにかき、分からないことは調べる。	◎アイディアマップという図にし、視覚的に分かりやすくすることで、文章を書きやすくする。
	9	・インターネット、食べ物に関する本	◎食べ物に関する本を多く用意し、調べやすい環境にする。 ☆食べ物について関心をもち、課題に合わせて調べたり書いたりしている。
	10	○分かりやすい文章の組み立てを考える。 ・教科書の文章の例を確認する。	◎分かりやすく説明する文章の書き方を振り返らせる。説明のしかたの工夫と文章の例の具体的な内容を対応させる。 ☆「初め」「中」「終わり」の構成で組み立てを考えている。「中」の部分で内容のまとめりごとに段落を分け、文章を構成している。
	11	○食品の例を挙げて説明する文章を書く。	◎説明の工夫が生かしていたか、漢字や文字が正しく使われているか、主述の対応、接続語の使い方が正しいか、句読点や改行の表記は適切か確認させる。
	12	・下書き 推敲	☆適切に事例を挙げて説明する文章を書いている。接続語を適切に使ったり、絵の入れ方を考えたり分かりやすい文章の工夫をしている。
	13	○友達と文章を読み合い、助言し合ってよりよい文章にする。 ・清書	◎分かりやすく説明しているところ、分かりやすい説明のためのアドバイスを付箋に書かせる。 ☆自分の書き方と人の書き方を比べ上手に説明しているところに気づいている。
	14	○文章を読み合い、互いの文章のよいところについて伝え合う。グループ→全体	◎教師が入って交流の見本を見せる。 ☆交流を通して、分かりやすい文章にするための工夫について理解を深めている。

